

1年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・全体的に走力が低く、転んでけがをする児童が多い。転んだ時に、手は出ている。
- ・運動技能に優れている児童もいるが、投の技能、筋力などが不十分な児童が多い。
- ・多様な動きに慣れていない。用具の操作(ボール・フープ等)も個人差が見られる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・ルールを守り、安全に気を付けて運動をしよう意識している児童が多い。中には楽しさが先に立ってしまい、話を聞かず安全に対する諸注意が散漫になってしまう児童がいる。
- ・友達の動きを見て、良いところを真似したり、自分で工夫したりする姿が見られた。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・どの運動にも、楽しみながら進んで取り組む。
- ・休み時間には、ボールや遊具を使った遊び、鬼ごっこ、タイヤ跳びなどを楽しんでいる。
- ・コロナ禍の影響で、外で遊ぶ経験が少ない児童も見られる。

重点課題

<知識及び技能>

- ・運動の基礎となる動きをたくさん経験させるようにすること。
- ・柔軟性や筋力、敏捷性を身に付けさせるようにすること。
- ・多様な動きを多く経験させるようにすること。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・友達の良い動きを見付けて参考にしたり、自ら工夫して運動したりすることができるようにすること。
- ・みんながゲームを楽しめるようルールや場を工夫したり、作戦を考えたりすることができるようにすること。
- ・友達同士で協力をし、アドバイスをしたり、教え合ったりして、意識を高めること。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・集合、号令、話を聞くなど、学習規律を守ること。
- ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせることで、外遊びの日常化を図ること。
- ・室内遊びやごっこ遊びが好きな児童の、体を動かす外遊びの意欲を高めること。
- ・友達と進んでかかわり、協力して運動する態度を育てること。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・走る、跳ぶ、投げる、転がる、のぼる、おりる、ぶら下がる、バランスをとる、用具を操作する等の基礎的な動きを多く経験させる。
- ・友達のよい動きをたくさん見つけさせ、コツとなる動きを理解させられるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・児童の発想が広がるような声掛けや場の工夫を行う。
- ・グループの協力や作戦によって、楽しくできるようなゲームを行う。
- ・スモールステップを踏ませることで、できるようになる楽しさをより多く味わわせる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・友達と関わりながら運動を楽しむことができるよう、グループ作りやルールを工夫する。特に男女が一緒に遊べるような遊びや運動を工夫する。
- ・校庭遊びだけでなく、体育館遊びや屋上遊びの日などはみんなで遊び、運動の心地よさを実感させる。
- ・学習の流れやルールの確認するときに、きちんと話を聞いて理解できるようにする。

2年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・かけっこでまっすぐに走ったり、いろいろな方向に走ったりすることができる。
- ・曲に合わせて、リズムに合わせて踊ることができる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・遊び方の工夫や、友達のよい動きを取り入れて遊ぶことができる。
- ・友達のよい動きを見つけることができる。
- ・児童同士の対話ができないため、伝え合うことについては、例年より難しい。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・体を動かすことが好きな児童が多く、進んで運動に取り組んでいる。
- ・きまりやルールを守って活動することができる児童が多い。
- ・運動の課題に対して取り組もうとする態度が見られた。

重点課題

<知識及び技能>

- ・運動経験が不足している児童には、基本となる運動を経験し、達成感が味わえるような運動をすること。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・ゲームの攻め方や、守り方を工夫すること。
- ・自分の考えや見付けたことを伝え合うこと。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすること。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・誰もが楽しめる工夫を行い、一人一人ができる、分かる活動にする。
- ・一人一人が自分に合っためあてを達成できるように、場を工夫する。
- ・走る、跳ぶ、転がる、のぼる、おりる、ぶら下がる等の動きの基本となる運動に重点を置き、身に付けさせる。
- ・とび箱、マットなどを使った運動遊びでは、逆さや腕支持等の基本的な動きを身に付けられる場を作り、自分のめあてに合った運動を行うことができるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・児童のよい動きを共有する時間を効果的に取り入れ、やってみたいという気持ちをもたせたり、真似をさせたりして、よい動きを広めていく。
- ・いろいろな運動や楽しいゲームを通して、心身のコントロールがうまくできるように、運動の楽しさを体験させる。
- ・授業中に、見付けたことや良かったことを伝える場面を設定する。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・運動遊びやゲームを通して、友だちと協力する、互いに意見を出し合う等、友達と関わる機会を与え、誰とでも仲良く活動する楽しさを味わえるようにする。

3年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・すばやく走り始めたり、まっすぐ見て走ったりすることができる児童が多い。一方で、まっすぐ走ったり、最後まであきらめずに走ったりするという点で課題がある児童もいる。
- ・曲のリズムに合わせて、楽しみながら大きな動きで踊ることができる。
- ・ボールを遠くへ投げることが苦手な児童や、ボールを捕ることが苦手な児童が多い。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・友達のよい動きを見つけ、自分の動きに取り入れることができる児童が多い。
- ・友達や仲間と作戦を考えることができる児童が多い。
- ・自己の能力に適した課題を見出したり、課題を設定したりすることに慣れていない児童が多い。
- ・自分の課題にあった練習方法を選んだり決めたりすることに慣れていない児童が多い。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・できるようになりたいという主体的な気持ちをもって取り組むことができる。
- ・自分の力を精一杯出し切ることができる児童が多い。
- ・ルールや注意事項を最後まで落ち着いて聞く児童が多い。
- ・友達と互いに励まし合い、教え合いながら運動することができる児童が多い。一方で、試合前のあいさつや勝敗の受け入れができない児童もいる。
- ・服装を整える（上着の裾をズボンに入れる・帽子のゴム・靴紐・ゼッケン）、運動する場所の安全を確認するなどの声かけは必要である。
- ・自分の決めた課題に対して、適切に振り返ることに慣れていない児童が多い。

重点課題

<知識及び技能>

- ・運動に楽しみながら基礎的な知識や技能を身に付け、体力の向上を図る。
- ・複雑な動きや、巧みさを必要とする動きを身に付けられるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自分の課題を見出せるようにする。
- ・チームワークを大切にし、全員が楽しみながら技能を高めるにはどうしたらよいかを、全員で考え、実践できるようにする。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・集団行動の規律を守り、次の行動にすばやく移り、整列や集合ができるようにする。
- ・向上心を持ち、安全に配慮しながら意欲的に技能を高めていく態度を育てる。
- ・友達と協力する、励まし合う態度を高めていく。
- ・毎時間の振り返りで自分の課題に対しての学びに向き合えるようにする。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・技や動きの正しい動きや、ポイントをしっかりと教師が伝えるようにし、正しい知識を教える。
- ・技能を身に付けるためのコツに気付かせるような発問を教師が行う。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・一人一人が自分に合った課題を設定する時間を設ける。
- ・課題に対する適切な練習方法を教師が提示し、児童が選んだり決めたりできる環境を整える。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・毎時間必ず振り返りの時間を確保し、教師がカードを準備し、言葉をかけるようにする。
- ・児童に模範演技の場を設けたり、児童相互で見合う時間を取り入れたりと、向上心を持ち活動に取り組む意欲を育てていく。
- ・集中して活動に取り組めない児童に対して周囲の児童が声をかけ、互いに励まし合いながら活動ができるよう日頃から指導をしていく。

4年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・曲のリズムに合わせて、楽しんで踊ったり、工夫したりすることができる。
- ・腕を前だけでなく、後ろにも大きく振って走ることを意識させる必要がある。
- ・ボールを投げる・蹴る技能等の動きの個人差が大きい。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・運動のめあてに対して取り組み、振り返りことができるようになっている。
- ・自分に合った課題を考え、その解決に向けて取り組むことが十分にできていない。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・体を動かすことを好み、約束やきまりを守り、友だちと協力して運動する児童が多い。
- ・友達と互いに励まし合ったり、教え合ったりしながら運動することができる児童が多い。
- ・体をよりよく発達・発育させ、元気に過ごすために、食事・運動・睡眠が大切だということ理解している。
また、自分のできることを生活に活かそうとする児童が多い。

重点課題

<知識及び技能>

- ・運動を楽しく行い、活発に運動を行って行く中で、体力や技能の向上を図ること。
- ・運動を行う上で、体の動かし方などを理解し、実践できるようにすること。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自分に合った課題をもち、動き方や運動する場、練習の仕方などを工夫すること。
- ・規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができること。
- ・振り返る際は、文章や図、イラストなどで自分の考えを表現できること。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・協力・公正などの態度を育てること。
- ・運動をする場所の整備、用具の安全を確かめるなど、運動のきまりを守る態度の育成。
- ・学習課題の達成に向かって最後までやり遂げる態度の育成。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・体づくり運動では、楽しく取り組みながら各種の運動の基礎を身に付けられるように運動内容を工夫する。
- ・ボール運動など、技能の習熟が必要なものには、準備運動を工夫して行い技能を高める。
- ・器械運動では、運動の特性に応じた技能のポイントを明確にすることで、互いに教え合える環境をつくったり、自分の能力に合っためあてをもって取り組めたりするように、活動の場を工夫する。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自分の課題を見出せるように、ICT機器（タブレット端末）を活用する。
- ・自分に合った課題をもち、工夫することができるように、基本的な動きに十分取り組んだ上で工夫させる。
- ・チームのめあてや個人のめあてを設定し、場の工夫や学び合いを行うなどして主体的な活動をさせる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・態度の評価の具体的な観点を児童に伝え、称賛声掛けを繰り返すことで協力・公正の態度を育てる。（用具の準備や片づけを友達と行う、きまりを守り、友達と励まし合って運動をすることなど重点に。）

5年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・ボールの扱いの個人差が大きい。
- ・持久力がない。
- ・曲のリズムに合わせて、楽しんで踊ることができる。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・めあてをもって運動に取り組むこと、そのめあてに対して十分な振り返りができていない。
- ・自分に合った課題をもち、その解決に向けて取り組むことが十分にできていない。
- ・チームで取り組む学習では、練習方法や作戦を考えながら学習に取り組むことができる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・体を動かすことを好み、約束やきまりを守って進んで運動する児童が多い。
- ・多くの児童が朝食をしっかり食べて登校しているが、食わずに登校する児童も少なからずいる。

重点課題

<知識及び技能>

- ・楽しく運動に取り組みながら、基礎的な技能を身に付ける。
- ・体力の向上を意識して運動に取り組ませる。
- ・発達の早期化と生活習慣の多様化に配慮し、体の発育・発達についての正しい理解と健康的な生活を送るための知識を身に付ける。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・試合やゲームの結果を意識するだけでなく、練習や試合で友達と協力し、楽しさや充実感を感じさせ、チームワークの大切さを意識させる。
- ・自分またはチームの技能を高めるにはどうしたらよいか考え、めあてをもって活動できるようにする。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・めあてに向かって進んで取り組み、一人一人が楽しく運動できるように工夫しようとする態度を育てる。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・運動の特性に応じた技能のポイントを明確にすることで互いに教え合える環境をつくったり、自分の能力にあっためあてをもち、自分の課題に合った活動ができるような場を設定したりする。
- ・ボール運動など、技能の習熟が必要なものには、準備運動を工夫して行い技能を高める。
- ・器械運動では、運動の特性に応じた技能のポイントを明確にすることで、互いに教え合える環境をつくったり、自分の能力に合っためあてをもって取り組めたりするように、活動の場を工夫する。
- ・正しい知識をもたせることで、心身の成長や変化には個人差があることを理解させる。
- ・自分の体や心の状態に関心をもたせるだけでなく、実感を伴わせることによって、学習課題の解決方法に気付かせ、知識の定着を図る。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自分に合った課題をもち、基本的な動きに十分取り組んだ上で、自分なりの工夫を考えさせる。
- ・一人一人が練習方法を工夫したり、チームで作戦を考えたりできるよう学習カードを工夫する。
- ・学習中のチームの良さや課題を話し合う振り返りの時間を設ける。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・めあてをもって進んで運動に取り組めるよう、学習カードを活用する。
- ・友達が頑張っていること・上手にできるようになったことなどを認め合う態度を育てる。
- ・ねらいを明確にし、個に応じた技能の習得を行い、できる喜びや達成感を得させる。
- ・体力を高めることの意義を伝え、運動の日常化につなげる投げかけをする。
- ・休み時間等で、外で遊ぶ機会を作り、日常的に運動に取り組むようにする。

6年生 <体育科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・技能のポイントを捉えながら、運動している児童が多い。
- ・知識として技能のポイントを知っているが、動きとして表現することができない児童も多い。
- ・ボールの扱いの個人差が大きい。(ボールを持たないときの動きにも個人差あり)

<思考力、判断力、表現力等>

- ・チームで取り組む学習では、練習方法や作戦を考えながら学習に取り組める。
- ・自分の考えをもって伝え合おうとしている児童が増えてきている。
- ・自分のめあてを意識して取り組む児童が少ない。
- ・自己の課題を見つけ、解決の方法を考える児童が少ない。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・運動に対する関心や意欲は高くもっている。
- ・約束やきまりを守って運動する子どもが多い。
- ・外遊びをしない児童もいる。
- ・多くの児童が朝食をしっかり食べて登校しているが、食わずに登校する児童も少なからずいる。

重点課題

<知識及び技能>

- ・楽しく運動に取り組みながら、基礎的な技能を身に付けること。
- ・体力の向上を意識して運動に取り組む。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・自己評価を行い、課題解決ができる。
- ・試合やゲームの結果を意識するだけでなく、練習や試合で友達と協力し、楽しさや充実感を感じさせ、チームワークの大切さを意識すること。また、勝敗を受け入れることができる。
- ・自分またはチームの技能を高めるにはどうしたらよいか考え実践できる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・めあてに向かって進んで取り組み、一人一人が楽しく運動できるように工夫しようとする態度。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・運動の特性に応じた技能のポイントを明確にすることで、互いに教え合う環境をつくったり、自分の能力に合っためあてをもち、自分の課題に合った活動ができるような場を設定したりする。
- ・スモールステップで授業を進める工夫をし、基本的な技能からしっかりと身に付けさせる。
- ・互いに教え合い、技能が向上するために、異質グループで学習をすすめる。
- ・工夫しやすく実感をとめないやすい運動を選択したり、配置したりする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・一人一人が練習方法を工夫したり、チームで作戦を考えたりできるように学習カードを工夫する。
- ・自己の課題を書き込むことのできる学習カードを作成する。
- ・学習中のチームの良さや課題を話し合う振り返りの時間を設ける。
- ・何をすべきか、どんな言葉かけをしていくかが分かりやすくなるような掲示物を作成する。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・めあてをもって進んで運動に取り組めるよう、学習カードを活用する。
- ・友達が頑張っていること・上手にできるようになったことなどを認め合う態度を育てる。
- ・ねらいを明確にし、スモールステップで授業をすすめ、できる喜びや達成感を得させる。
- ・体力を高めることの意義を伝え、運動の日常化につながる投げかけをする。
- ・楽しんで行えるよう合言葉を活用する。